

おやすみみみずく

パット＝ハッチンス 作
わたなべしげお 訳



偕成社 1977年 1400円

木の上のみみずくが、「あー ねむたい」と目をつむっていると、はちがぶんぶん、からすがかーかー。動物たちが次々と木にやってくるので、みみずくは眠れません。しかし、ようやく夜になり、あたりがひっそり静まりかえると、今度はみみずくが…。図案化された独特のタッチで描かれた木の葉や動物たちの姿が魅力的です。動物が現れるたびに変わっていくみみずくの目の動きもユーモラスです。

ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニングガム 作
みつよしなつや 訳

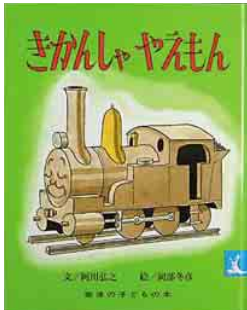


ほるぷ出版 1976年 1200円

ガンピーさんが小舟で出かけていくと、子どもや動物たちが次々にやってきて、舟に乗り込みます。しばらく、みんなは楽しく川を下っていましたが…。「いっしょにいてもいい？」と尋ねられるたびに、ガンピーさんが「いいとも。…しなけりゃね」と答え、子どもたちは何か起こりそうな予感にわくわくします。単色の線画と、印象的な緑を使ったカラーとが交互に配され、大らかな午後の風景が描かれています。

きかんしゃやえもん

阿川弘之 文
岡部冬彦 絵



岩波書店 2001年(初版1959年) 640円

古い機関車のやえもんは、いじわるな電気機関車たちに、貧乏汽車だとばかにされてしまいます。怒ったやえもんは、火の粉を吐き出し、そのせいで田んぼが火事になってしまいます。子どもたちは、おんぼろ機関車のやえもんに気持ちを重ねて耳を傾け、やえもんを訪れる幸せな結末に満足します。汽車たちの発するテンポのよい擬音も面白く、子どもたちを楽しませます。